

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称
美里町健康づくり推進協議会
美里町食育推進会議
- 2 開催日時 平成29年11月22日（水）午後6時30分から午後8時まで
- 3 開催場所 美里町健康福祉センター 研修室
- 4 会議に出席した者
 - （1）委員 高橋文一委員、玉手英一委員、岡部伸之委員、宮城裕美子委員、福島敏恵委員、成澤美恵子委員、伊藤恵子委員、今野幹子委員
 - （2）事務局 課長 佐藤俊幸、課長補佐 菊地知代子、技術主幹 伊藤八重子、技術主幹 日野とも子、技術主査 及川沙希、技術主査 五十嵐華絵、技師 松井玲奈、技師 大津裕香、係長 佐々木早苗、技師 三浦由子
 - （3）その他
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別 （公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の人数 無し
- 8 会議資料
 - 資料1 - 第2期美里町健康増進計画重点項目別実施状況
 - 資料1 - 保健事業統計
 - 資料2 第2期美里町健康増進計画目標：指標と現状値
 - 資料3 第2期美里町健康増進計画平成30年度実施計画
 - 資料4 食育に関するアンケート集計結果
 - 資料5 第2期食育推進計画の進捗状況（目標、指標一覧）

9 会議の概要

(1) 議題の審議結果又は今後の対応

- ・統計のとり方としては、経年変化を踏まえて評価のできる方法とすること
- ・美里町健康増進計画についてなど、積極的に地域へ情報発信し、周知していくこと

(2) 詳細な意見(別紙)

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成 年 月 日

委員 _____

委員 _____

会議の経過

佐藤課長	開会の挨拶
高橋会長	お集まり頂きありがとうございます。次第に沿って進めさせていただきます。 4、議事録署名委員及び書記の選任ということで、いかがいたしましょうか。一任でよろしいでしょうか。
各委員	異議なし
高橋会長	議事録署名委員としましては、福島敏恵さん、伊藤恵子さん、以上お二人でよろしくお願いいいたします。書記としましては、大津裕香でよろしくお願いいいたします。 次に、5、審議事項に入らせていただきます。1)美里町健康増進計画及び美里町食育推進計画の進捗状況および平成30年度事業計画案について、資料1～5に基づき事務局からお願いします。
日野	【資料1、資料2】「第2期美里町健康増進計画」進捗状況報告
松井	【資料1、4、5】「第2期健康増進計画」重点項目 栄養・食生活及び「第2期美里町食育推進計画」進捗状況報告
菊地	【資料3】「第2期美里町健康増進計画平成30年度実施計画」報告 【追加資料】平成30年度重点取組事項に関することについて
高橋会長	美里町健康増進計画及び美里町食育推進計画の進捗状況と、平成30年度事業計画案に分けて、協議を進めていきたいと思えます。 気づかれた点があればお願いします。 食育に関するアンケートでは、調査方法を変更した分、経年変化で結果がみえる方向性で進めていただきたいと思います。
玉手副会長	ホームページでの情報発信について、アクセス数はどのくらいなのでしょう。
及川	具体的な数は知らされていませんが、健康福祉課のページはまめに更新しているということもあり、美里町のホームページの中では、多くアクセスされています。
高橋会長	アクセス数も踏まえながら評価していけると良いのではないのでしょうか。
成澤委員	美里町健康増進計画及び美里町食育推進計画については、周知が不足しているように感じます。周知については、地域に出向き、計画自体を浸透させる取り組みが必要ではないのでしょうか。現状としては、計画自体を知らない人がほとんどだと感じます。

今野委員	<p>食育のデータについては、食事を一人で食べるといったデータが増えていることが心配です。家族で食卓を囲む機会が減ってきているように感じ、食事自体を楽しめているかといった点が気になります。子育て世代にある親達は、生活の中で食育をどの程度意識しているのでしょうか。</p>
高橋会長	<p>親達の生活態度や、子どもの食育については心配な点もあります。家庭内の問題ということもあり、介入が難しいといった面もあると感じます。</p>
日野	<p>乳幼児健診時では、保護者へ食生活や生活リズムについて指導しています。その中では、なかなか改善しにくい人もいるように感じます。栄養士からも、作り置き提案など、具体例を伝えています。今後も面接による指導は継続していきたいと考えます。</p>
高橋会長	<p>保健師と栄養士、部門毎ではなく全体を捉えた支援が必要だと思います。</p>
玉手副会長	<p>住民が事業に参加したくなるような工夫を検討してほしい(具体例として健康ポイント制など)。</p>
今野委員	<p>独居高齢者や若い母親にあてはまりますが、一日の食事を記録できるようなシートを用意し、健康への意識づけを行うのはどうでしょうか。食事について指導するより、今日は何を食べたかということを確認することは、気付きにつながるのではないかと思います。集団で行う事業に参加しない人に対しても、家にいながら参加できる部分があると良いのではないかと考えます。</p>
岡部委員	<p>子ども達も野菜を食べなくてはならないといった意識は持っていると感じます。子どもにとって何が楽しい食事かといったことは、各々で異なるのではないかと。家族がいるから楽しいのか、好きなメニューだから楽しいのか。アンケートの調査方法については、各々の「楽しい」の捉え方を踏まえていただきたいと考えます。</p>
高橋会長	<p>アンケートの取り方としては、経年変化をみるために基本は変えず、工夫していけると良いのではないのでしょうか。</p>

宮城委員	美里町の健康課題は県全体の健康課題と共通しています。国民健康栄養調査の結果、宮城県男性の塩分摂取量が全国ワースト1位でした。保健所では事業所向けに取り組んでいるところですが、今後も男性への呼びかけは継続していきたいと思います。また保健所ではフードモデルの貸し出しを開始したため、是非活用していただきたいです。美里町には「男のエプロン友の会」という集まりがありますが、その参加者が周囲に呼びかけていくのはどうでしょうか。
松井	一般の方も参加できる講座を実施していますが、なかなか集まらないのが現状です。基本的に「男のエプロン友の会」の参加者は、自分達の食の自立といった目的で参加しています。
高橋会長	全国で、宮城県男性の塩分摂取量がワースト1位ということが気になります。
福島委員	食生活改善推進員では年5回研修会があり、その参加者は増えてきています。その際は塩分糖分などについて学習し、地域に発信していくようにと伝えていきます。地域ごとに伝達講習会があり、回覧で全戸に呼びかけていますが、そちらは年々参加者が減少しています。中学校で行う講座では、食生活改善推進員が中学校に出向きます。そこでは、子ども達が包丁の使い方もわからず、基礎的なことから教えていかなければならないような状態で、心配に思います。
伊藤委員	住民の健康意識については、文書を活用して、どんどん情報を発信していくことが大切ではないでしょうか。
高橋会長	広報での周知より、個人宛に文書を送付する方が注意を向けさせやすい可能性があります。文書を送付されることで、自分の問題だと捉えやすくなるのではないのでしょうか。
宮城委員	保健所では今年から、子どもと保護者の健康づくり事業を開始しました。親子で体操をしたり、塩分の勉強をしたりします。美里町にも是非参加していただきたいと思います。
岡部委員	学校での親子教室を通して、生徒は塩分等について勉強します。初めは薄いと感じますが、実際に飲食することで適当な塩分濃度を体感していくことも、一つの方法ではないのでしょうか。
高橋会長	小さいころに覚えた味は忘れない。町で、幼いうちから健康意識を育ててあげる体制が大切だと思います。
福島委員	学校で出汁をとった味噌汁を食べさせると、塩分濃度が薄くとも美味しいという反応がきます。家庭で薄味の食事を定着させることが大事ではないのでしょうか。

宮城委員	今年加美町で保健所事業として、塩分濃度を測定できるペーパーを配布し、調査実施する予定です。食育の進捗状況については、学校給食の地場産品の使用割合結果が良く、素晴らしいと感じます。
松井	地場産品の使用について、美里町は県内トップの結果です。梨のピューレ、大豆の加工品等を、学校で給食に取り入れています。
岡部委員	実際に、学校の給食には野菜が多いと感じます。生徒達もおかわりをして食べています。先日梨のピューレが入ったカレーが出ましたが、好評でした。
成澤委員	高齢者も口腔内の健康を非常に意識しているように感じます。 ハチマルニーマル 8020が随分浸透しているのではないのでしょうか。
菊地	多くの提案をいただき、ありがとうございました。
高橋	是非、住民のところが動かされるような方法をとっていただきたいと思います。
及川	最後に、こころの健康づくりについて。自殺対策について、各市町村ごとに計画策定が義務化されました。現在県の方で自死対策の県計画を策定しているところですが、その県の計画を参考に、市町村でも来年度中に計画策定しなければならない状況です。計画策定にあたり、今年度中に集まる機会をもって、協議、相談する機会をつくらせていただきたいと思っています。
高橋	是非がんばって取り組んでいただきたいと思います。次回もお集まりをお願いします。
佐藤課長	閉会の挨拶
	20:00 終了